

## 仕様書

令和 5 年 3 月 30 日

独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構

エネルギー事業本部

## 1. 件名

令和 5 年度「先進的 CCS 事業に係る調査」に関する委託調査業務の実施

## 2. 業務内容

## 2.1. 目的

公募要領に記載のとおり

## 2.2. 内容

先進的 CCS 事業に係る調査として CO<sub>2</sub>分離回収、輸送、貯留に関する以下の作業を行う。実施においては CCS 事業の分離回収、貯留場所についても提案を行うこととする。妥当な理由がある場合は仕様書記載の項目のうち実施しない項目があることも認める。その場合は提案書に実施しない項目と理由を記載すること。また、作業内容については 2030 年度又はそれ以前の CO<sub>2</sub>貯留を想定した際に機構が必須と認めた作業のみを委託対象とする。なお、審査通過後の実施計画書策定時にあたっては機構と協議し、機構から審査を通過した事業者に対し実施計画書の修正を求める場合がある。

(1) CO<sub>2</sub>分離回収に関する作業

- a) 分離回収設備に関する設計と最適化検討
- b) CAPEX/OPEX の試算
- c) 必要敷地面積の算出と場所の選定
- d) 事業実施におけるリスク・課題の抽出などを行う。

(2) CO<sub>2</sub>輸送に関する作業

- a) 輸送設備に関する設計
- b) CAPEX/OPEX の試算
- c) 事業実施におけるリスク・課題の抽出などを行う。

(3) CO<sub>2</sub>貯留に関する作業

- a) 圧入設備の設計
- b) 必要敷設面積の算出と設置場所の選定
- c) モニタリングの取得方針策定
- d) 貯留層評価スタディ
- e) 貯留層評価結果にもとづく圧入計画の策定
- f) 坑井基本仕様の検討
- g) 貯留に関する CAPEX/OPEX の試算
- h) 事業実施におけるリスク・課題の抽出などを行う。

- i) 貯留想定地域の理解の醸成作業
- (4) 報告書・プレゼン資料の作成
  - 報告書には以下の項目に関し記載する。
    - a) 先進的 CCS 事業構想（少なくとも別添 4 提案書記載例 1.に示した項目について記載）
    - b) (1)～(3)の実施内容と結果
    - c) 対象地域における CCS 事業の実施適正に関する考察

### 3. 成果物

調査結果について、機構に対して月に 1 回程度を目安とした進捗状況報告を行う。報告の形態については別途協議の上決定する。また、中間報告会(頻度と時期については機構と協議の上決定する)及び契約終了時までには最終報告会を実施するほか、契約終了時までには最終報告書を作成し、電子媒体にて機構に提出する。なお、成果物作成にあたっては、公開可の情報と不可の情報を明確に分けること。

成果物の言語は日本語とする。進捗状況報告、中間報告会および最終報告会で使用した資料一式および最終報告書を成果物とする。

### 4. その他

本仕様書に記載のない事項については、当機構と協議のうえ、決定する。

以上